

トピックス

九州の自立を考える会 令和4年度定例総会

10月12日、本県議会議員をはじめ、九州の政財界の有志を会員とする「九州の自立を考える会」（会長：藏内勇夫議員）の総会が福岡市で開催され、藏内会長は、「本会は平成23年に設立して以来10年以上にわたり、九州の成長戦略等に関する調査、提言を積極的に行い、その多くを実現してきました。そして、今、新たにワンヘルスの推進に取り組んでいます。令和2年12月には福岡県議会において福岡県ワンヘルス推進基本条例を制定していただき、今年2月には、このような取り組みに高い評価をくださっている岸田文雄内閣総理大臣を訪問し『アジア新興・人獣共通感染症センター』の九州への誘致などをお願いしたところです。さらに、アジア地区の23カ国で構成するアジア獣医師会連合（FAVA）の役員会で、25年前に福岡県に誘致された国連ハビタットに続く、九州で2つ目の国際機関となるFAVAの日本事務所（ワンヘルス推進を目的としたものです）を福岡県に設置することを決定していただきました。既に、ハビタットの事務局長とは、ともに人間の健康に取り組む組織としての共同プロジェクトのお話もしているところです。まさしくこれから、皆さんの力をお借りして当会の九州の成長戦略の実現に向けて、さらにまい進していく時が来たと思っております」と挨拶されました。

また、来賓として桐明和久議長は、「平成29年の九州北部豪雨により甚大な被害を受けた日田彦山線沿線地域については、藏内会長が、『九州の自立を考える会』に自民党福岡県議団の松本國寛会長を座長とする日田彦山線復旧問題対策協議会を設置していただき、地元の方々とは何度も意見交換を重ねて地域振興プランを作ってくださいました。おかげで、現在、着々と振興計画が実現されつつあります。県議会としても、県執行部と一体となり、『九州の自立を考える会』をはじめ、地元自治体との連携のもと、日田彦山線沿線地域の復旧復興にしっかりと取り組んでまいります」と挨拶しました。

その後、一般社団法人九州観光機構の唐池恒二会長による10周年記念講演（演題：夢見る力が「気」をつくる～九州観光再生に向けて～）が行われ、会場の方々は熱心に聞き入っていました。



来賓挨拶をする桐明和久議長



主催者挨拶をする藏内勇夫会長



記念講演講師：唐池恒二会長

戦略国際問題研究所上級研究員による議長表敬

9月13日、海洋安全保障に関する講演会のため、戦略国際問題研究所のグレゴリー・ポーリング上級研究員及び在福岡アメリカ領事館のストレイダー・ペイトン領事が県議会を訪問され、桐明和久議長、井上博隆副議長をはじめ、福岡県防衛議員連盟（会長：松本國寛議員）の役員がお迎えしました。

桐明議長は、「日本の防衛問題については、今、我々が関心を持ち、しっかり対策をしていくべきことですので、お話をお聞きできることを楽しみにしております」と挨拶しました。

その後、ポーリング上級研究員から「南・東シナ海における中国の海洋進出とそれによる当国・地域への影響」と題した講演があり、多くの議員が参加しました。



駐日タイ王国大使による表敬

8月26日、シントン・ラーピセートパン駐日タイ王国特命全権大使が県議会を訪問され、桐明和久議長、仁戸田元氣副議長をはじめ、福岡県タイ友好議員連盟（会長：仁戸田元氣副議長）の役員が出迎え、歓迎しました。

桐明議長は、「福岡県とバンコク都は、2006年に友好提携を締結し、その翌年には福岡県議会とバンコク都議会との間でも友好提携を結んで以来、長年にわたり、さまざまな分野において素晴らしい交流が行われてきております。シントン大使におかれましても、今後ともご理解とご協力を賜りますよう、よろしくごお願い申し上げます」と挨拶しました。

シントン大使は、「総領事館開設時には、多大なるご尽力をいただき、ありがとうございました。福岡県とタイ王国は長きにわたって交流があり、県議会でもバンコク都議会と友好交流がっております。コロナが収束しましたらもっと活発に交流を行っていききたいと思います」と述べられました。

その後の懇談では、両国の出入国に関する話題など、活発な意見交換が行われました。



飲酒運転撲滅県民大会

8月25日、令和4年度飲酒運転撲滅県民大会が北九州国際会議場で開催され、桐明和久議長、仁戸田元氣副議長、県民生活商工委員会の渡辺美穂委員長、警察委員会の渡辺勝将委員長をはじめ、多くの議員が出席しました。

平成18年8月25日に、福岡市の海の中道大橋において幼い3人の尊い命を奪った飲酒運転事故が発生してから16年となります。桐明議長は、この事故を一つの契機として、平成24年に全国初の罰則付きの「福岡県飲酒運転撲滅運動の推進に関する条例」を議員提案により制定したこと、また、令和2年6月には、県民の意識づくりを進めるべく、条例の一部を改正したことを紹介しました。そして、「県議会としても、飲酒運転のない安全で安心して暮らせる福岡県づくりのため、今後も飲酒運転撲滅運動の推進に全力を挙げて取り組んでまいります」と挨拶しました。

大会では、飲酒運転撲滅メッセージの発信や飲酒運転撲滅を祈念した演舞、若者による飲酒運転撲滅宣言などが行われました。



九州各県議会議長会議

8月24日、令和4年度第2回九州各県議会議長会議が佐賀市で開催され、桐明和久議長、仁戸田元氣副議長が出席しました。

会議では、本県提案の「勤務獣医師の人材確保について」や「人と動物共通の新たな感染症への対応力の強化について」など、各県議会から提案された議案について審議を行い、九州各県議会議長会の要望事項として関係省庁等に提出することなどが決定されました。

また、会議終了後には、「地方は消滅しない～ウクライナとコロナ、2つの戦後経済」と題して、経済評論家の上念司氏による講演会が行われました。



Fukuoka Sports Award 2022

8月8日、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会において出場された、福岡県ゆかりの選手の皆さまの努力、健闘を称えるとともに、県民が一丸となってアスリートを応援する機運を醸成するため、「Fukuoka Sports Award 2022」が福岡市内で開催されました。

桐明和久議長は、「コロナ禍で閉塞感を感じている私たちに、大きな感動、勇気、元気を与えていただきました選手の皆さまに感謝を申し上げますとともに、スポーツの力、素晴らしさを改めて実感しました」と述べ、素根輝選手、道下美里選手をはじめ、メダルを獲得された選手の皆さまに「福岡県議会議長特別感謝状」を贈呈しました。また、惜しくもメダルに手の届かなかった選手には、県民に感動を与え、青少年に未来への可能性を示されたことから、福岡県スポーツ議員連盟（会長：井上順吾議員）から「感謝状」が贈呈されました。

授賞式では、選手による大会の思い出やパリ大会に向けた目標などが語られました。



特別感謝状を贈呈する桐明和久議長



感謝状を贈呈する井上順吾議長